

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番) 全国港湾19FAX第75号
(宛先) 各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	2020年 4月 17日 時 分 (発信者) 全国港湾 玉田



(件名)

新型コロナウイルス感染防止に関する「現場の不安・要望」の集約結果について

(本文)

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大、「緊急事態宣言」発出され、全国的に不要不急の外出を控えるムードが広がる中、「テレワーク」や「在宅勤務」が推奨されても、港湾物流を支える港湾運送事業は、その社会的責務を果たすことが要請され、職場には様々な不安が日々募っています。
2. 既報の通り、全国港湾は、こうした事態に日港協や関係行政に対し、港湾労働者の安全確保を第一とする対策を申し入れ、協議をしているところです。同時に、こうした取り組みに当たっては、「現場で何が起きているか」、「対策に何が必要か」を具体的に把握することが重要と考え、「職場の不安と要望」を集約する取り組みを行ってきました。
3. その結果、4月17日現在、9地区・37職場から、貴重な意見を頂くことができましたので、集約結果について、別添の通り報告します。
あらためて、ご意見をお寄せいただいた組合員の皆様に感謝申し上げます。
4. なお、今般の結果報告は、4月17日現在までの集約です。引き続き職場の不安やご意見を集約して、今後の取り組みに生かす考えですので、全国港湾書記局迄、職場の意見をお寄せください。
5. また、20春闘をはじめとする全国港湾の取り組みについて理解いただくために、通常の提起機関紙に加え、号外ピラを作成し、各地区港湾や職場に発送しました。組合員の皆様に配布し、活用するよう要請します。

以上

<添付> 新型コロナウイルス感染拡大・防止に関する「不安・要望」等の意見集約(4/17)

2020. 4. 17.

新型コロナウイルス感染拡大・防止に関する「不安・要望」等の意見集約(4/17)

新型コロナウイルスの感染拡大と深刻な事態に対し、政府は、4月7日に7都府県(東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡)に対し「緊急事態宣言」を発出しました(その後、4月16日に全国に拡大)。こうした中で、港湾労働者の間でも、日常生活や仕事への不安が広がっていることを重視し、全国港湾と港運同盟は、日港協・国土交通省・厚生労働省に緊急申入れ(4月3日)を行いました。その中で、より詳細な現場の意見(不安・要望)を集約し、日港協や関係行政への具体的な対策に反映することが必要と判断し、詳細な現場の意見(不安・要望)を集約する取り組みを進めました。以下は、現在(4月17日)までに寄せられた、現場の声です。職場の意見・要望をふまえ、今後の取り組みに生かしていきたいと考えています。

- ① 集約数：2020年4月8日～17日/9地区・37職場/丸数字は同じ意見の件数
：地区＝北海道・東京・横浜・駿河・四日市・大阪・神戸・中国・博多
- ② 集約方法：<第一部/P1～P4>は、寄せられた意見や要望を、アンケートの問いに沿って、そのまま転記したものです。
<第二部/P5～P8>は、寄せられた意見や要望を、各々の回答の特徴毎に大まかに分類して整理したもので、今後の取り組みに生かしていくための試みです。

<第一部/アンケートへの回答>

1. 新型コロナウイルスの感染拡大が、日常生活や仕事に、どのように影響していますか？

- 内航船でマスクした状態で、本船入港状況を確認するためにブリッジに入室しようとしたが拒否された(苫小牧②、神戸)。
- ゴーグルの着用も求められたが、結果的にマスクのみでよいとのことであった(小樽)
- 外航船で本船に乗船した際、検温を求められた(北海道/苫小牧)。
- コロナウイルスの影響を受け、業務量・給与の減少に不安がある(北海道/苫小牧)。
- 食品のコンテナDEVAN作業をするのですが、感染者の多い国より送られてきた外箱に、仮に感染した労働者がVAN詰を行ったとして、付着したウイルスは、常温・冷蔵・冷凍、それぞれの環境において完全に死滅しているかを、厚労省が実際に検査をして検証し公表するように要請していただきたいです。植物検査と同時にサンプルを取り、今までのデータ等ではなく実際の検査結果を知ること、港湾労働者の安心につながると思います(横浜)。
- マスク・消毒液・生活必需品(トイレトーパー等)が買えない(横浜、清水、神戸④)
- マスクをしないと乗船できない(小樽、大阪)。台湾船・中国船でこの事態があり取りに戻った(横浜)

- マスクをしていない注意された例は、北米航路に多い(神戸)
- 本船からマスクをしていないと上がるなど言われたので必要(大阪/ヤンミン、神戸)。
- 育児ストレス・(子供の)自宅学習による勉強の遅れ(横浜)
- 経済活動の低下による仕事の減少(横浜)
- 現場移動の時に密室空間になる/車の中/密閉空間になるので感染率が高い(大阪、神戸③)。
- マスクがない状態を何とかしてほしい(小樽、東京③、大阪、神戸②)。
- マスクがいつなくなるか不安だ(神戸②、博多)
- 医療機関への受診が正しいのか?受診することによって感染するかも?(大阪)
- 消毒液が足りない。防災グッズに入れておくようにするにはどうか(大阪、博多)
- 濃厚接触を避ける為、時間差出勤や在宅勤務の要請が今後予想されるが、在来船、コンテナ船荷役となると、要請にこたえるのが難しい(神戸)。
- 在宅勤務はできない職場で、これによって、自社の取り込み量の減少や流通量が戻るか心配(神戸)。
- 感染者が出た場合、営業所が閉鎖になるのか不安だ(神戸)
- 濃厚感染の疑いで自宅待機を命じられた場合の給与などへの影響、貨物量の減少で仕事が減り雇用への不安(神戸)。
- 輸入貨物を取り扱う時感染しないか不安がある(神戸)。
- 寄り場が密閉空間で濃厚接触とならないか不安だ(神戸)
- 「密閉空間」で濃厚接触ができないため、仲間とのコミュニケーションがとり辛い(神戸)。
- 荷動きが悪くなり、貨物量が減少していくなか、仕事量が激減していくと予想される。賃金面や雇用確保のことについて不安の声が出てい(清水・四日市)。
- 本船から感染拡大しないか不安がある(東京)。
- 仕事がなくならないか不安である。また、なくなってしまった場合、どう生活していけば良いか不安を感じています(東京②)。
- 貨物が減少し、緊急事態宣言発令もあり、休業を余儀なくされるため家計への影響が心配(東京)。
- マスクを着用していないとターミナル内建物に入れないとの告示がありマスク不足が深刻である(東京)。
- 通勤時の濃厚接触が不安、期間限定でマイカー通勤を考えてもいいのではないかと(神戸)。
- 仲間同士の感染が不安、事務所内で集まることのリスク(神戸、博多)。
- 会社の意識が低すぎる(東京)。
- 札幌で感染者の増加傾向なので今後どう影響があるか心配だ(小樽)。
- 感染リスクは感じているが、個人の対応では限界がある(博多)。
- マスクの確保が難しく着用が徹底できていない(広島)。
- 本船のブリッジに入ることができず不快だった(広島)。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大、感染予防でぜひやってほしい対策は何ですか?

- 本船が入港する前に、本船の乗組員の健康状態や滞在履歴等の情報が欲しい(北海道/苫小牧)。
- 事務所や詰所等での加湿空気清浄機の設置とメンテナンスが必要だと思う(小樽、苫小牧、大阪)。
- マスクや手洗い後の除菌アルコールが不足しているため不安が残る(北海道/苫小牧)。

- 現場において「3つの密」をなるべく作らないようにしてもらいたい(北海道/苫小牧)。
- 会社がなかなかマスクを仕入れることができない状態です。日港協が早急に対応し、現場に配布できるよう求めます(横浜、大阪②)。
- コロナによる隔離時は特別休暇にして欲しい(横浜)
- 現金給付を一律にして欲しい(横浜)。
- 治療薬を早く認可して欲しい(横浜)。
- 検査できる病院など、業界としてマニュアルが欲しい(横浜)
- 陽性反応が出て14日間の自宅待機となれば、接触者全員も自宅待機となり仕事が回らない(大阪)。
- 誰かがかかれば、全員が自宅待機になる、事業所閉鎖が考えられるため普段から気を付けているが、それによるストレスが大きい(大阪、神戸)
- 会社にサーモグラフィーを置いてほしい(大阪)。
- 感染者が出たとき、それから後の対応をどこまで考えているのか(東京、大阪、神戸)
- 事務所、寄場のあり方を考えてほしい(大阪)
- 事業所が全滅にならないように、時差作業(ギャング単位)ができないか?(大阪)。
- WEB会議の導入、HP・SNSを活用した情報の共有(大阪)
- 濃厚接触等で休む場合の休暇の取り扱い(有給、社給、特別休暇、私病など)を明確にして欲しい。補償をしっかりとって欲しい(神戸③)。
- 感染が確認された場合「特別有給休暇」等の措置を産別として協定するよう申し入れてほしい(神戸)
- 本船、前港寄港地の明確化により、より注意すべき船舶の把握ができる(神戸)。
- 多人数での朝礼やミーティングの簡素化等と呼び掛けていただきたい(神戸)。
- 手洗い・うがいの励行、消毒液・マスクの各現場への確保(東京、神戸③、博多)
- 検温での管理(神戸)
- 思いつく対策がないので特になし(神戸②)
- 徹底したウイルス撲滅対策を講じてほしい(神戸)
- 寄り場のアルコール消毒液の増加(神戸)。
- 船員に発熱者が出た場合、入港できなくなるが、その場合は手配解けとなっても賃金補償をしてもらえるのか(神戸)。
- 作業量を鑑みて人員の配置を(例：2～3人休ませてもいい時にそのように…)、しかし有給休暇となると困る(横浜)。
- 朝礼、夕礼、昼食など80人以上で一つの部屋でやっている。「3密」を避けるため、朝礼・夕礼中止、ロッカーの混雑を避けて時差退社を。そのような中でも仕事はきちりやっているの、会社は理解して欲しい(東京)。
- 業務上、多数の人と接するので感染しないか不安だ(小樽、博多)
- 港湾関係者で感染者が出た場合は情報共有を徹底して欲しい(広島)。
- 休業できないのであれば、マスク等の支給を徹底して欲しい(広島)。
- 感染者の多い地域から来た船は入港させないで欲しい(広島)。
- 1か月で休暇を多く取ることになるので、今後、休みが取れるか不安だ(広島)。

3. その他、新型コロナウイルスの感染拡大に関して、自由に書いてください。

- コロナ発信源になりたくない(横浜)。
- 作業時間の短縮、非常事態宣言中は昼勤に(横浜)
- 作業員の面倒を見るため、税制など考慮して欲しい(横浜)。
- 会社がマスク・消毒液を用意しているが、優先的に購入できるようにしてほしい(東京②、横浜、大阪、神戸)。
- マスクの購入が困難なため、業例でまとめて斡旋できないか(東京、神戸)。
- 作業の手配が成り立たない時、プレッシャーがないよう日港協等による指導が必要(横浜)。
- 感染した時、病院での早急な対応をして欲しい。PCR検査ができない(大阪)。
- マスク着用は、確実にして欲しい(大阪)。
- 一人一人が自分の行動に責任をもっていけないと感染拡大は収まらない(大阪)
- 感染予防は、人々のモラル(大阪)
- 日本にとって港の重要性を強く訴えていきたい。
- 今後の伝染性のウイルスが蔓延した時の、交渉時の日程、取り組みへの初動行動に生かして頂きたい(神戸)
- できる限りの外出は控えます！(神戸)
- (要約)社内的には「会議や懇親会を控える」とされているものの、管理職やOBも含めた居酒屋での飲み会が3月以降の続いていると聞いた。組合から「飲み会は延期すべき」としてきしても、その場ではごまかして、居酒屋・スナック通いが続いていると聞く。こうした方から感染が広がり仕事に支障をきたしたらだれが責任を取るのか不安である(神戸)。
- (要約)万が一感染者が出た場合は、公表して注意喚起をすべきではないか(神戸)。
- 関連情報を適時出して欲しい(神戸)。
- 万が一感染者が出た時の対処・対応について、感染者本人の責任追及はどうなるのか(東京)
- 家族の不安(子供の将来)が募る(神戸)。
- 本人が気付かず、他の人(家族、友人等)に移してしまわないか不安(博多)
- プライベートバースのため、全く荷役を止めるような話が出ない(広島)
- 収束が見通せないので職場に「収入源になるのではないか」との不安が広がっている(広島)
- 完成車の輸出は4月はゼロ台になってしまった。いつまで続くのか不安(広島)。
- 製鉄所構内において、危機感を全く感じない。異常だと思う(福山)。
- 仕事量が減少している時こそOJTなどを実施するとき(広島)

<第二部/回答を類型別に整理>

1. 新型コロナウイルス感染拡大の職場への影響

(1) 本船作業への影響

- 内航船でマスクした状態で、本船入港状況を確認するためにブリッジに入室しようとしたが拒否された(苫小牧②、神戸)。
- ゴーグルの着用も求められたが、結果的にマスクのみでよいとのことであった(小樽)
- 外航船で本船に乗船した際、検温を求められた(北海道/苫小牧)。
- マスクをしていないと乗船できない(小樽、大阪)。
- 台湾船・中国船で、マスクなしで乗船できず取りに戻った(横浜)
- マスクをしていない注意された例は、北米航路に多い(神戸)
- 本船からマスクをしていないと上がるなど言われたので必要(大阪/ヤンミン、神戸)。
- 本船から感染拡大しないか不安がある(東京)。
- 本船のブリッジに入ることができず不快だった(広島)。

(2) 沿岸・ターミナルその他の港湾作業への影響

- 輸入貨物を取り扱う時感染しないか不安がある(神戸)。
- マスクを着用していないとターミナル内建物に入れないとの告示がありマスク不足が深刻である(東京)。
- 本船が入港する前に、本船の乗組員の健康状態や滞在履歴等の情報が欲しい(北海道/苫小牧)。
- 休業できないのであれば、マスク等の支給を徹底して欲しい(広島)。
- 作業の手配が成り立たない時、プレッシャーがないよう日港協等による指導が必要(横浜)。
- プライベートバースのため、全く荷役を止めるような話が出ない(広島)
- 事業所が全滅にならないように、時差作業(ギャング単位)ができないか?(大阪)。
- 業務上、多数の人と接するので感染しないか不安だ(小樽、博多)。

(3) その他

- 作業時間の短縮、非常事態宣言中は昼勤に(横浜)
- 本船、前港寄港地の明確化により、より注意すべき船舶の把握ができる(神戸)。

2. 感染リスク・感染防止に関する要望

(1) マスク・消毒液など感染防止対策への要望

- マスク・消毒液・生活必需品(トイレットペーパー等)が買えない(横浜、清水、神戸④)
- マスクがない状態を何とかしてほしい(小樽、東京③、大阪、神戸②)。
- マスクがいつなくなるか不安だ(神戸②、博多)
- 消毒液が足りない。防災グッズに入れておくようにしてほしい(大阪、博多)。
- マスクや手洗い後の除菌アルコールが不足しているため不安が残る(北海道/苫小牧)。

- 会社がなかなかマスクを仕入れることができない状態です。日港協が早急に対応し、現場に配布できるよう求めます(横浜、大阪②)。
- 会社にサーモグラフィーを置いてほしい(大阪)。

(2) 寄り場など事業所での感染防止対策への要望

- 寄り場が密閉空間で濃厚接触とならないか不安だ(神戸)
- 現場移動の時に密室空間になる/車の中/密閉空間になるので感染率が高い(大阪、神戸③)。
- 「密閉空間」で濃厚接触ができないため、仲間とのコミュニケーションがとり辛い(神戸)。
- 仲間同士の感染が不安、事務所内で集まることのリスク(神戸、博多)。
- マスクの確保が難しく着用が徹底できていない(広島)。
- 事務所や詰所等での加湿空気清浄機の設置とメンテナンスが必要だと思う(小樽、苫小牧、大阪)。
- 現場において「3つの密」をなるべく作らないようにしてもらいたい(北海道/苫小牧)。
- 事務所、寄場のあり方を考えてほしい(大阪)
- 多人数での朝礼やミーティングの簡素化等と呼び掛けていただきたい(神戸)。
- 手洗い・うがいの励行、消毒液・マスクの各現場への確保(東京、神戸③、博多)。
- 検温での管理(神戸)
- 徹底したウイルス撲滅対策を講じてほしい(神戸)
- 寄り場のアルコール消毒液の増加(神戸)。
- 朝礼、夕礼、昼食など80人以上で一つの部屋でやっている。「3密」を避けるため、朝礼・夕礼中止、ロッカーの混雑を避けて時差退社を。そのような中でも仕事はきっちりやっているのに、会社は理解して欲しい(東京)。
- 会社がマスク・消毒液を用意しているが、優先的に購入できるようにしてほしい(東京②、横浜、大阪、神戸)。
- マスクの購入が困難なため、業側でまとめて斡旋できないか(東京、神戸)。
- (要約)社内的には「会議や懇親会を控える」とされているものの、管理職やOBも含めた居酒屋での飲み会が3月以降の続いていると聞いた。組合から「飲み会は延期すべき」としてきしても、その場ではごまかして、居酒屋・スナック通いが続いていると聞く。こうした方から感染が広がり仕事に支障をきたしたらだれが責任を取るのか不安である(神戸)。

(3) その他

- 通勤時の濃厚接触が不安、期間限定でマイカー通勤を考えてもいいのではないかと(神戸)。
- 感染リスクは感じているが、個人の対応では限界がある(博多)。
- 治療薬を早く認可して欲しい(横浜)。
- 検査できる病院など、業界としてマニュアルが欲しい(横浜)。
- 感染者の多い地域から来た船は入港させないで欲しい(広島)。
- マスク着用は、確実にして欲しい(大阪)。
- できる限りの外出は控えます！(神戸)。
- 関連情報を適時出して欲しい(神戸)。
- 食品のコンテナDEVAN作業をするのですが、感染者の多い国より送られてきた外箱に、仮に感染した労働者がVAN詰を行ったとして、付着したウイルスは、常温・冷蔵・冷凍、それぞれの環

境において完全に死滅しているかを、厚労省が実際に検査をして検証し公表するように要請していただきたいです。植物検査と同時にサンプルを取り、今までのデータ等ではなく実際の検査結果を知ることで、港湾労働者の安心につながると思います(横浜)。

3. 万が一、「通院」「隔離」「入院」で休業を余儀なくされる場合の備え

(1) 健診などの対策

- 感染した時、病院での早急な対応をして欲しい。PCR検査ができない(大阪)。
- 感染者が出たとき、それから後の対応をどこまで考えているのか(東京、大阪、神戸)

(2) 休業などに備えた対策

- コロナによる隔離時は特別休暇にして欲しい(横浜)。
- 濃厚接触等で休む場合の休暇の取り扱い(有給、社給、特別休暇、私病など)を明確にして欲しい。補償をしっかりとって欲しい(神戸③)。
- 感染が確認された場合「特別有給休暇」等の措置を産別として協定するよう申し入れてほしい(神戸)
- 船員に発熱者が出た場合、入港できなくなるが、その場合は手配解けとなっても賃金補償をもらえるのか(神戸)。
- 作業量を鑑みて人員の配置を(例：2～3人休ませてもいい時にそのように…)、しかし有給休暇となると困る(横浜)。
- 1か月で休暇を多く取ることになるので、今後、休みが取れるか不安だ(広島)。

(3) その他

- 万が一感染者が出た時の対処・対応について、感染者本人の責任追及はどうか(東京)

4. 仕事・雇用への不安と対策

(1) 仕事・雇用への不安

- 貨物が減少し、緊急事態宣言発令もあり、休業を余儀なくされるため家計への影響が心配(東京)。
- 陽性反応が出て14日間の自宅待機となれば、接触者全員も自宅待機となり仕事が回らない(大阪)。
- コロナウイルスの影響を受け、業務量・給与の減少に不安がある(北海道/苫小牧)。
- 濃厚接触を避ける為、時間差出勤や在宅勤務の要請が今後予想されるが、在来船、コンテナ船荷役となると、要請にこたえるのが難しい(神戸)。
- 在宅勤務はできない職場で、これによって、自社の取り込み量の減少や流通量が戻るか心配(神戸)。
- 感染者が出た場合、営業所が閉鎖になるのか不安だ(神戸)。
- 濃厚感染の疑いで自宅待機を命じられた場合の給与などへの影響、貨物量の減少で仕事が減り雇用への不安(神戸)。
- 荷動きが悪くなり、貨物量が減少していくなか、仕事量が激減していくと予想される。賃金面や雇用確保のことについて不安の声が出てい(清水・四日市)。
- 仕事がなくなるか不安である。また、なくなってしまった場合、どう生活していけば良いか不安を感じています(東京②)。

- 誰かがかかれば、全員が自宅待機になる、事業所閉鎖が考えられるため普段から気を付けているが、それによるストレスが大きい(大阪、神戸)。
- 完成車の輸出は4月はゼロ台になってしまった。いつまで続くのか不安(広島)。
- 10 仕事量が減少している時こそOJTなどを実施するとき(広島)

(2) 物流動向や景気見通しに対して

- 収束が見通せないので職場に「収入源になるのではないか」との不安が広がっている(広島)。
- 経済活動の低下による仕事の減少(横浜)。

5. その他

- 育児ストレス・(子供の)自宅学習による勉強の遅れ(横浜)
- 医療機関への受診が正しいのか?受診することによって感染するかも?(大阪)
- 会社の意識が低すぎる(東京)。
- 札幌で感染者の増加傾向なので今後どう影響があるか心配だ(小樽)。
- 現金給付を一律にして欲しい(横浜)。
- WEB会議の導入、HP・SNSを活用した情報の共有(大阪)。
- 思いつく対策がないので特になし(神戸②)
- 港湾関係者で感染者が出た場合は情報共有を徹底して欲しい(広島)。
- コロナ発信源になりたくない(横浜)。
- 作業員の面倒を見るため、税制など考慮して欲しい(横浜)。
- 一人一人が自分の行動に責任をもていかないと感染拡大は収まらない(大阪)
- 感染予防は、人々のモラル(大阪)
- 日本にとって港の重要性を強く訴えていきたい。
- 今後の伝染性のウイルスが蔓延した時の、交渉時の日程、取り組みへの初動行動に生かし頂きたい(神戸)
- (要約)万が一感染者が出た場合は、公表して注意喚起をすべきではないか(神戸)。
- 家族の不安(子供の将来)が募る(神戸)。
- 本人が気付かず、他の人(家族、友人等)に移してしまわないか不安(博多)
- 製鉄所構内において、危機感を全く感じない。異常だと思う(福山)。

以上